

二〇〇五年年頭ご挨拶

どうしてもそういうものが見当たらない時に守成のものを
選べとっている。
私も関山もそれに賛同して働いてきた。
関山が亡くなった現在、少しも早く理想とする企業経営はど
うあるべきか、働くものが心配なく働ける経営はどうすべき
かを決めるべきだと思う。



私はいくつもの経営についての
考え方を持って今日まで来た。
しかしまだ完成ではない。
私の父は、酒井の血筋を経営の
主とする必要は全くない。
「最も企業を繁栄させる力があ
るもの」または「繁栄させたも
の」に譲ることが正しい。

株式会社分社経営研究所
代表取締役社長
酒井 邦 恭

グループ全社員の皆様へ
『二〇〇五年の出発に際し
諸君にどの様な経営が良いかを問う』

新春特別号

分社

代取会会報

《発行責任者》
株式会社分社経営研究所
代表取締役社長：酒井 邦恭
《編集責任者》
分社グループ代取会
〒104-0061
東京都中央区銀座6丁目12番1号
TEL 03-3574-9542
会長：佐々木弘人
副会長：竹田 誠
発行担当者：吉田寿子

父は酒井の家が酒井太郎吉の発明によって小財閥となり得る
所を、長男が自分一人、自分一家はこれで長く安泰でいられる
と考えて、すべての財産を握って引退した。

それでも戦争の波が来て約三十年間で大きな屋敷は売払って他
人の経営する旅館となり、現在は更にマンションとなっている。
今日、ダイエーは土地建物は自分のものでなくてはと、借入れ
しては自主経営を続けて来たが、借地借家だといと考えるイ
トーヨー力堂に名をなさしめて消えてしまった。

凄い力まかせの経営をしてきたコクド・西武も最早落城は決定
的で、堤氏もただの人である。

日立、東芝、三菱も損傷を受け、住友、三井、第一勧銀、富士、
興銀をはじめとする金融資本はすべて崩壊、肩を寄せ合って生
き残っている、すべて潰れてしまったのだといって良い。

大津波、大地震が都市や国家を破壊したように、真面目にやつ
てこようと、どれ程名門エリートであろうと、正邪の別なく破
滅となるのは恐ろしいばかりである。

私は皆で知恵を集め、皆が安心して生き、働ける経営を目標に
して経営を進めたい。

誰かの勝手で企業が勢いを失えば、そこで働いて生活の安定を
求めていた人々には大変な迷惑です。

やる気を失ってやめて行くなどのことが起れば企業は終わりで
す。

私はこんな事になる前に少しでも長く続けていく価値のある
経営を実現したい。

皆様に広く意見を求めます。
社長から一社員に至るまで、どんな人の意見でも私は心を開い
てよくお聞きします。

そして沢山のご意見を集めた上で更に皆様に公開し、その結果
でここ当面の目標を決め、更に常に皆様の意見を集めて、
更に働きがいのある企業にしていきたいのです。

これは私の生涯の目的であり、実行すべき事だと思っています。

以上